



公益社団法人 兵庫工業会

理事 永井 英雄

(白鶴酒造株式会社 執行役員)
生産本部 副本部長



兵庫工業会 NEWS

2020年11月号

発行 / 公益社団法人 兵庫工業会

No.296

創業277年の企業として

■ 巻頭言 ■

兵庫工業会の皆様には、日頃より大変お世話になっております。2018年より理事を拝命いたしております白鶴酒造株式会社の永井英雄と申します。この度は兵庫工業会ニュースの巻頭言のご依頼をいただき、分不相応ではありますが灘五郷と当社の日本酒について少し述べさせていただきます。

兵庫県は酒米の最高峰である「山田錦」を生み出した県であり、酒米や日本酒の生産量で日本一を誇っています。また、2018年6月には国税庁からワインの原産地呼称制度にも似た日本酒の地理的表示であるGI「灘五郷」(GI: Geographical Indication)の指定を受け、主産地として世界に日本酒を広めるべくブランド価値向上に努めています。

灘五郷は神戸から西宮にかけての、西郷、御影郷、魚崎郷、西宮郷、今津郷の5つの地域からなり、六甲おろしが吹き降り寒造りに適した地形であること、六甲山の急斜面を流れる川沿いで高精白可能な水車精米が行われたこと、花崗岩層を通った宮水は発酵を促すミネラル分を適度に含み酒の着色につながる鉄やマンガがないこと、酒造りの技術に秀でた丹波杜氏や蔵人が近隣にいたこと、江戸に下る酒樽を積み込み易い大阪湾に面していたことなどから大いに発展してきました。これらの条件に恵まれた灘五郷の日本酒は、総じて味わいの調和がとれており、後味の切れの良さを有しています。なかでも春までに醸造し貯蔵熟成を経た酒は、秋になり香味が整い、まろやかさが増して、飲み飽きしない「秋上がりする酒」といわれています。

当社は1743年(寛保3年)に現在の神戸市東灘区御影で創業し、太平洋戦争や阪神大震災など多くの苦難を経験しながら、本年で277年を迎えました。日本で最もご愛飲いただいている「まる」から、兵庫工業会の皆様にもおなじみの「天空」「翔雲」といった純米大吟醸酒まで、幅広い日本酒アイテムをこの地で生産しています。

日本酒業界は、愛飲者の方々の高齢化、酒類の多様化、飲酒形態の変化などから、消費は1973年をピークに大きく減少しています。兵庫工業会にご参加の経営者の皆様から、「画期的な商品の多くは難局に生まれる」との言葉をいただき、需要回復が急務の我々にとっては力強いご助言と感じています。

開発には、経営者の前向きな姿勢、従業員の意識の高まり、全社員のベクトルの同一性の3つが条件となります。

更に日本酒は嗜好飲料であり、お米を原料に微生物が醸します。美味しさを探求するには造りを極めようとする芸術家的な発想が必要となります。同時に、伝統産業と思われがちな酒造りですが、文化を守りつつも市場情報を積極的に取り込み、社会変化を受け入れて、常に時代に即した商品の提供を心掛けなければいけません。

本年春からのコロナウイルス感染症の猛威は多くの産業に多大なる損害を与え、当社でも料飲店向け商材や海外向け商材については販売が激減しました。逆に感染防止対策として在宅勤務が一般的になったことから、家飲み需要は堅調で、手に取りやすいパックの日本酒は好調に推移しています。

これからも時代に即した商品を追い求めて、兵庫県の特産品である日本酒を全世界にアピールしていくつもりです。日本一の酒どころ兵庫県で、ぜひお気に入りのお酒を見つけてください。

兵庫工業会会員の皆様へ（会長メッセージ） 及び2020年度第3回理事会（書面表決）

2020年9月吉日

公益社団法人 兵庫工業会
会員の皆様へ

コロナ禍での兵庫工業会の運営に関わるメッセージ

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は、当工業会の運営につきまして格別のご支援とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染拡大については、今年度に入り、4月には政府が緊急事態宣言を出し、8月には兵庫県が最高の警戒レベルである感染拡大期にあると位置づけるなど、いまだ終息にはほど遠い状況です。

このような中、兵庫工業会としては、今年度上期において、3密対策、マスク着用や手洗い励行などの対策をとるなどの細心の注意を払いながら事業運営を行ってまいりました。しかしながら、「兵庫技術研修大学校」の5つのカリキュラムの中止（申込者減のため）、2つの「研究会」の中止（相手先企業の協力が困難なため）、「夏のビッグイベント」の中止（3密防止のため）や「見学会」の延期（受入れ困難なため）など、当初計画した事業のいくつかは実施することができませんでした。

会員の皆様には諸事情をご賢察のうえ、ご理解いただきますようお願い申し上げます。

現在、小康状態にあるとは言え、新型コロナウイルスの感染拡大は収まってはいません。このため、今後（下期）の工業会の事業運営におきましても、上期同様、細心の注意を払って進めることといたします。

ところで、兵庫工業会における個々の事業運営は、それらを所掌する委員会にて取り仕切っていただいております。委員会そのものが上期には開催できませんでした。下期においては、WEB会議等を活用して委員会を通常開催することにより、円滑な事業運営を図ることといたします。

一方、多人数参加の懇親会については、引き続き、中止といたします。兵庫工業会の事業に付随した懇親会は人的交流の機会として極めて有用ではありますが、コロナ禍では控えざるを得ないと考えています。このため下期での開催を予定する「会員交流懇親会（忘年パーティー）」や「ものづくり技術懇話会」等につきましては、所掌委員会にて開催方法を含めて慎重にご審議いただくこととしており、皆様には、改めて、別途、ご案内いたします。

いずれにしても、コロナと共存する（ウイズコロナ）時代を迎えたとの認識を持って事業活動（サービス提供）を行ってまいります。この点、会員の皆様にはご理解いただき、引き続き、工業会活動へご協力いただきますよう、お願い申し上げます。

敬具

公益社団法人 兵庫工業会

会長

宮脇新也

2020年9月11日（金）第3回理事会（書面表決）にて、以下の議案について65名の理事及び3名の監事の全員に賛成表決をいただきました。これにより、審議案件は、原案通り承認されました。

〈議案〉

第1号議案 会員の入会について

くすのき会 キックオフ・ミーティング ご報告

10月6日(火)に若手経営者が集う「くすのき会」の今年度キックオフ・ミーティングを兵庫県中央労働センターで開催いたしました。

例年は4月に実施いたしますこのイベントも、今年はコロナウイルス感染症の影響を受け、活動期間が半年となってしまい、この日の開催となった次第です。

それでも会員と体験入会の方合わせて20名のご参加をいただきました。

冒頭、今年度から代表幹事を務められます大野様(株大野社 代表取締役社長)より皆様に挨拶と今年度幹事会の方針などを説明いただきました。

その後、宮協会長による講話「変化に挑戦 輝く未来へ」の後、参加者による近況報告会を実施いたしました。

例年ですと、この後、全員参加の懇親会を実施するのですが、今年度は見送らせていただきました。

しかしながら約半年ぶりの例会ということやニューフェイスの入会などのため、非常に活気あふれた例会となり、今後の活動にも弾みがつきそうです。



講演会写真

兵庫工業会女性会 講演会 ご報告

10月2日(金)に、あすてっぷKOB Eにおきまして、女性会の定例会を参加者12名で開催いたしました。10月ではありますが、コロナ禍により、今年度初めての例会であり、まず2020年度の新お世話役の中川 裕子様、宮家 史子様をご紹介いたしました。

続いて、神戸市 企画調整局 男女共同参画センター 副所長 西田 雅啓様よりご挨拶をいただきました。

講演会では、吉備国際大学農学部教授の井上 守正様に、「どぶろく・灘五郷の清酒について、なかなか造られなかったどぶろく造りに挑戦した女性について」というテーマでお話しをいただきました。

酒造りといえば女人禁制イメージもありますが、現在は女性の蔵元や杜氏も誕生し、それぞれの地域でご活躍なさっておられます。もともと、はるか昔は女性がお酒を作っていました。女人禁制となった理由としては諸説あるそうですが、酒造りは力仕事で危険な作業を伴うということもあったのでしょう。現在は、道具が充実し、パワーも不要ということから、女性も活躍しています。むしろ、女性の鋭い感性で、美味しいお酒を作ることが望まれているとのことでした。特にどぶろくを作っている現場の多くは女性が活躍されているとのこと。どぶろくは「清酒の出来損ないである」や「清酒を買えない人が密造していたものである」などという偏見があるようですが、実際はとてもヘルシーで、つぶつぶ感・ドロドロ感のある特有の飲み心地や美味しさがあります。ただ、生物であるため、あまり市場に出回っていないとのことですが、皆さまも機会があれば、ぜひ一度お試しください。

男性中心の酒造りという現場で、独自の感性を存分に活かし、次々と新しいことにチャレンジなさっている女性の姿には勇気づけられます。ワークライフバランスを取りながら、やりがいや達成感を追求していくためのヒントになるのではないかと感じつつ、大変興味深く拝聴いたしました。

文責：女性会 お世話役 宮家 史子



講演会風景(井上教授)

第38回管理監督者研修 ご報告

9月11日(金)～12日(土)に13名の参加者を迎えて、加古川プラザホテルにて「第38回管理監督者研修」を実施いたしました。コロナ禍の中ではありますが、会場レイアウトの工夫など徹底した感染症対策を講じたうえでの講義となりました。

写真でもお分かりいただけると思いますが、例年より少ない受講者がソーシャルディスタンスを取っての講義となり、がらんとした印象を受けません。

しかしながら実習・発表ともその中身に関しましては非常に充実したものとなり、個人の発言機会も増えたことが影響してか、夕食時の参加者交流会では、例年以上に活発な情報交換がされておりました。

参加者の方々からも、「管理職としてのあるべき姿・目標を示していただいたので、2月実施のフォローアップ研修までに業務改善に取り組みたい」などのお声をいただきました。

その他アンケート結果を見ると、今年度は特にコミュニケーションに関して、課題があると記載されている方が多い結果となり、職場における意思疎通の機会減が、リーダーにとっても悩みとなっているようです。

来年度も人材育成委員会での議論をもとに、講師の方々とも相談のうえ、より良い研修にしていまいますので、多数の方のご参加をお待ちいたします。

※来年度は、同会場にて2021年9月3日(金)～4日(土)開催となる予定です。



管理職クラス講義風景



リーダー・係長クラスでのグループ実習

新 会 員 紹 介

株式会社ムカエ

代表者 代表取締役 土井 淳司
所在地 〒656-2224
兵庫県淡路市大谷1152-2
TEL 0799-64-2176
FAX 0799-64-2178
URL <https://mukae.co.jp/>
資本金 3百万円
従業員数 26名

■営業品目

自動化／省力化機械の企画開発・設計・製作・販売、
機械加工全般、部品販売

■事業内容

当社は自動化／省力化を目的とした機械設備の販売を行っています。お客様のご要望に応じて開発・製造からアフターメンテナンスまで一貫して自社で行うためスピーディな対応が可能であり、最近では三次元測定機を導入し、CSにも力を入れ取り組んでおります。また自動化推進のために産業用ロボット導入のご提案もさせて頂いておりますので、お気軽にご相談ください。



経済産業省では、新型コロナウイルス感染症の影響により大きな打撃を受けた中小企業・小規模事業者の事業継続を強力に支援するため、令和2年第一次及び第二次補正予算において、持続化給付金・家賃支援給付金の支給や実質無利息融資・資本金資金供給等の資金繰り対策といった危機対応を実施してきました。

令和3年度当初予算（地域・中小企業・小規模事業者関係）では、「事業承継・再生等の新陳代謝の促進」、「研究開発・海外展開等を通じた生産性向上による成長促進」、「中小企業等のデジタル化の推進」に取り組み、コロナ危機の克服及び危機を契機とした構造展開による低成長からの脱却等を図ることとしています。

ここでは、皆様のご関心が高いと思われる施策を3つご紹介させていただきます。

1 事業承継補助金

令和3年度概算要求額27.0億円（新規）

※事業承継・世代交代集中支援事業としての要求額。

[事業イメージ]

- ・ 経営者交代型・M&A型では、事業承継・事業再編を契機に、経営革新等に挑戦する中小企業に、設備投資・販路拡大の支援を行います。なお、新規事業への参入などを行う場合は重点的に支援を行います。
- ・ 専門家活用型では、譲渡側・譲受側双方の士業専門家の活用に係る費用（仲介手数料・デュレリジェンス費用（買収に伴うリスク調査）、企業概要書作成費用等）を補助します。
- ・ また、経営資源を譲渡した事業者の廃業費用も補助します。
- ・ さらに、中小企業が団体等を通じ、事業承継やM&Aについて情報交換等を行うイベントの開催を支援します。

枠 組		補助率	補助上限額	上乗せ額 ※廃業を伴う場合
経営者交代型 (経営者交代後の経営革新等を支援)	・ 原則枠	1 / 2	225万円	+ 225万円
	・ ベンチャー型事業承継・生産性向上枠※	2 / 3	300万円	+ 300万円
M&A型 (M&A後の経営革新等を支援)	・ 原則枠	1 / 2	450万円	+ 450万円
	・ ベンチャー型事業承継・生産性向上枠	2 / 3	600万円	+ 600万円
専門家活用型 (M&A時の専門家活用費用を補助)	・ 売り手支援枠	2 / 3	200万円	+ 450万円
	・ 買い手支援枠			

※ベンチャー型事業承継枠：新商品の開発・新サービスの提供を行う者を支援します。

生産性向上枠：「経営革新計画」又は「先端設備等導入計画」を提出した者を支援します。

2 戦略的基盤技術高度化支援事業（サポイン事業）

令和3年度概算要求額147.0億円*（131.2億円）

※戦略的基盤技術高度化・連携支援事業としての要求額

[事業イメージ]

- ・情報処理、精密加工、立体造形などのものづくり基盤技術の向上を図ることを目的として、中小企業等が、大学・公設試等の研究機関等と連携して行う、研究開発や試作品開発、その成果の販路開拓に係る取組等に対して最大3年間の支援を実施します。
- ・令和3年度要求においては、高い技術的優位性がある一方、事業化に向けた計画に見直しの余地がある申請案件について、事業化計画の磨き上げ支援を行い、十分な見直しを図られたものを採択する新たな取組を実施します。
- ・さらに、ものづくり中小企業のビジネスマッチングサイトである「サポインマッチ・ナビ」について、事業者同士のマッチングの機会を増やす拡充を行うことや展示会への出展を支援すること等を通じ、研究開発成果の事業化及び更なる事業拡大を後押しします。

○補助上限額：4,500万円

※3年間の総額で9,750万円、単年度で4,500万円を超えない範囲で補助を受けることが可能

○補助率：2／3以内

※大学・公設試等の場合は定額

3 商業・サービス競争力強化連携支援事業（サビサポ事業）

令和3年度概算要求額147.0億円*（131.2億円）

※戦略的基盤技術高度化・連携支援事業としての要求額

[事業イメージ]

- ・中小企業が、異分野の中小企業や大学・公設試等と連携し、AIやIoT等の先端技術等を活用して、革新的なサービスモデルの開発等を行う取組について、最大2年間の支援を実施します。

○補助上限額：3,000万円

※2年度目は初年度の交付決定額を上限

○補助率：1／2以内

※AI・IoT等の先端技術活用の場合は2／3以内

経済産業省では、この他各種施策を令和3年度概算要求において、以下のとおり公表しております。

<https://www.meti.go.jp/main/yosangaisan/fy2021/index.html>

1 新規産業立地促進補助の拡充

(産業労働部産業振興局 産業立地室)

新型コロナウイルス感染症の影響により、中国をはじめ、特定国・地域に集中するサプライチェーンの脆弱性が顕在化したことから、産業立地条例に基づく補助金等の拡充により、生産拠点の県内回帰をはじめ、サプライチェーンの強化・再構築を目指す製造業等を支援します。

対 象 者：海外の自社生産施設に類する生産施設を県内に新增設する者

- ・ サプライチェーン強化のため、特定国に依存していた製品・部品等の生産施設を新たに県内に整備する者
- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響により、需給が逼迫した医療物資・医療機器など、県民の健康な生活を守る上で重要な製品の生産施設を新たに県内に整備する者

税 軽 減：不動産取得税軽減率 2分の1（促進地域4分の3）*上限2億円

法人事業税の軽減率 2分の1（促進地域4分の3）〈5年間〉

補 助 金：設備投資補助率 投資額の6%（促進地域10%）*上限なし

：新規雇用補助額 新規正規雇用者45万円/人

（促進地域 新規正規雇用者90万円/人、新規非正規雇用者30万円/人）

ホームページ：https://web.pref.hyogo.lg.jp/sr03/sr03_000000002.html

連 絡 先：兵庫県産業労働部産業振興局産業立地室（078-362-4154）

2 中小企業の運転資金等への支援

(産業労働部産業振興局 地域金融室)

(1) 新型コロナウイルス感染症対応無利子資金の創設・拡充

国が一定の要件を満たす中小企業者に対する利子・保証料の軽減を行う制度を創設したことから、それに連動した融資制度を令和2年5月1日に新設し、新型コロナウイルス感染症の流行により影響を受ける中小企業者を支援（同年6月22日に融資限度額を4,000万円に引上げ）

(2) 新型コロナウイルス感染症保証料応援貸付の創設

新型コロナウイルス感染症対応無利子資金の限度額を超える資金需要を有する中小企業者のさらなる負担軽減のため、県が補助を行い保証料無料の融資制度を創設

(3) 新型コロナウイルス感染症対策6資金の一部資金における適用期間延長

セーフティネット保証4号の指定期間が、令和2年9月1日から令和2年12月1日まで延長されたため、新型コロナウイルス対策6資金のうち、以下の①～③の資金の適用期間を、現行の令和2年9月30日までから令和3年1月31日までに延長

（参考）実施済みの県制度融資による新型コロナウイルス対策

資金名	適用期間	概要	信用保証	融資利率 (保証料率)	融資 限度額	融資期間 (据置期間)
① 新型コロナウイルス対策貸付	2月25日～ 翌1月31日	セーフティネット(SN)保証 の別枠利用	一般保証 SN保証4号 SN保証5号	0.7% (0.8%※)	2.8億円	10年(2年) 以内
② 経営活性化資金	3月16日～ 翌1月31日	迅速な融資審査		金融機関所定 (0.8%※)	5,000万円	10年(1年) 以内
③ 借換等貸付		県制度融資の借換				
④ 新型コロナウイルス危機対応貸付	3月16日～ 翌1月31日	①のさらに別枠利用	危機関連保証	0.7% (0.8%※)	2.8億円	10年(2年) 以内
⑤ 新型コロナウイルス感染症 対応資金(無利子・無保証料)	5月1日～ 翌1月31日	最大で当初3年間無利子、 保証料免除	SN保証4号 SN保証5号	当初3年 0% 4年目以降 0.7% (最大0.0%)	4,000万円	10年(5年) 以内
⑥ 新型コロナウイルス感染症 保証料応援貸付	6月22日～ 翌1月31日	⑤の限度額超の資金ニ ズに対応	危機関連保証	0.7% (0.0%)	5,000万円	10年(2年) 以内

※SN保証・危機関連保証を利用する場合（一般保証を利用する場合：第5区分で1.15%）

ホームページ：https://web.pref.hyogo.lg.jp/sr08/ie05_000000031.html

連絡先：兵庫県産業労働部産業振興局地域金融室（078-362-3321）

会員企業トピックス紹介

APEC「女性と経済パートナーシップ会合」に参加

2020年9月21日(月)、株式会社ユーシステムの代表取締役の佐伯里香さんがAPEC（アジア太平洋経済協力会議）Malaysia2020のPPWE（the Policy Partnership on Women and the Economy今年度はオンライン開催）に内閣府から推薦され、APEC事務局で唯一の日本の経営者として発表されました。

PPWEの“Public Private Dialogue on Women and the Economy”のセッションに登壇し、「IT活用でパンデミックを乗り越える」をテーマに、プレゼンテーションを行いました。

佐伯さんが代表を務めるユーシステムでは、企業のITサポートを手がけるなか、事業継続のためのITの必要性を痛感、様々な工夫により業務の効率化と従業員の意識改革に成功し、長時間残業も解消しました。その結果、「女性が輝く先進企業表彰」内閣府特命担当大臣賞を受賞した経験があります。

プレゼンテーションでは、近年、災害が多いことから、まずコロナ禍前より取り組んでいる非常時でも業務を継続するための仕組みについて説明。そしてITを活用して「業務の見える化」を実践。無駄な作業をなくし、会議に費やす時間を一人当たり年間216時間削減することに成功し、それを全員に実践させるための仕組みについて紹介しました。また、レポートやダッシュボードで結果を表示することにより、日々の集計負荷の削減、会議の「質」の向上、スピーディーな現状把握、スピーディーな戦略立案、意思決定が可能になりました。

そして、ポストコロナの働き方について、テレワーカーとのコミュニケーションやテレワーカーの孤独感や疎外感をなくすため、Zoomを利用して一緒にラジオ体操をしたり、アバターロボットを導入した取り組みも披露しました。最後に「大事なことは小手先の対策ではなく、根本から意識や文化を変えること」と締め括りました。



APEC「女性と経済フォーラム2020」へのオンライン参加の様子（於 ㈱ユーシステム）



フルヤ工業株式会社

所在地：〒669-2211 丹波篠山市大沢新110番地
TEL：079-594-1111 FAX：079-594-1115
URL：<http://www.furuyainc.co.jp/>
代表者：代表取締役社長 降矢寿民

求む難題！ 求む新天地！ 「駆け込み寺」とも言われる技術力

お客様の夢をカタチにするフルヤのチカラ。私たちフルヤ工業の役割は、第一にお客様が求める様々な期待にスピーディーにお応えすることです。技術に磨きをかけ、幹から広げた枝をより太い枝に育てる当社の経営スタイル「サボテン経営」。創業以来1世紀の歴史を超えて受け継がれる創意工夫のDNAが何度もの危機を乗り越えて不況に強い“サボテン”を育ててきました。1918年創業以来、当社は常に時代の変化を先取りしながら技術革新と最先端の製品作りに取り組んでいます。道なき道を切り開くパイオニア・スピリッツ。それが創業時代から変わらぬ当社の原動力です。私たちがこれまでに手がけてきた製品分野を一口で説明することはとても出来ません。より広大なフィールドで物づくりの可能性を切り拓く、それが創業以来の変わらぬフルヤのチャレンジ精神です。自動車、時計、カメラ・通信機器、医療、工作・産業機器、ヘルスケア、住宅設備、家電・工業部品、アパレル等あらゆる業界から寄せられる多種多様なオーダーを糧としながら、無限大の夢をひとつずつカタチに変えてきました。お客様に材料や技術工法の提案をして採用していただく、それが当社の存在価値であり、生き残る道だと考えています。高度な技術を多数保有しているから、どのような業界のどんなニーズにも応える事ができます。お客様が心に描く無限大の夢、まだカタチの定まらない夢に最善のカタチを提案する事が、当社の努めです。

樹脂製マスクの開発に挑む

新型コロナウイルスの感染防止に不可欠なマスク。プラスチック成形品メーカーとして長年培った技術と経験を生かして樹脂製マスクの開発に挑んでいます。技術、製造、営業、の部署を超えたプロジェクトチームによる自社開発をスタート。CADで設計し、3Dプリンターで出力したものをもとに何度も作り直した。金属ブロックで作った精密金型を何度も修正、通常30日間かかる金型製作を10日間で終え、当時品薄状態だったマスクとして試作品を社員に配布しました。しかし、従業員からはプラスチック特有の匂いや硬さ、重さへの指摘があった。このため、カシオの腕時計「G-SHOCK」への部品供給で培った技術を生かし、そのボディに使っている無臭で丈夫、柔らかい樹脂に変更。厚みを2ミリから1.2ミリまで薄くし、軽量化と着け心地を改善した。水洗いで繰り返し使え、G-SHOCKのように堅牢性がある。白、ネイビー、スカイブルー、ピンク、黒とカラーバリエーション、ファッション性も備えるなどしたのが特徴。オーダー数により別注色にも対応します。是非、企業カラーのマスクをご検討して頂ければ幸いです。



MASCK-G

G-SHOCKと同じ素材を使用し
軽くて丈夫!! 耐久性に優れています。



会 員 動 向

新入会員				
企業名	代表者名		所在地	入会月
株式会社ムカエ	代表取締役 土井 淳司		淡路市	2020年9月
代表登録者変更				
企業名	新登録者		旧登録者	変更月
ラッキーベル株式会社	代表取締役社長 有吉 謙治		有吉 英二	2020年6月
ユニオン精機株式会社	代表取締役社長 山本 正信		山崎 嘉啓	2020年6月
東亜外業株式会社	代表取締役社長 小本 一博		小本 洋一郎	2020年6月
川崎マリンエンジニアリング株式会社	代表取締役社長 本井 達哉		鹿野 健司	2020年6月
姫路合同貨物自動車株式会社	代表取締役会長 北野 耕司		北野 穰	2020年6月
川崎油工株式会社	取締役社長 郡 憲司		前田 正美	2020年6月
神鋼物流株式会社	代表取締役社長 岡 欣彦		岩佐 道秀	2020年6月
川重テクノロジー株式会社	代表取締役社長 熊本 秀喜		道場 康二	2020年6月
第一朝日工業株式会社	代表取締役社長 金本 大玄		金本 文泰	2020年6月
神鋼環境メンテナンス株式会社	代表取締役社長 箕輪 元		山上 恵造	2020年6月
関西キリンビバレッジサービス株式会社	代表取締役社長 実川 勝己		吉村 智士	2020年6月
株式会社国際健康開発センタービル	代表取締役社長 梅原 尚人		塚本 晃彦	2020年6月
株式会社カワサキライフコーポレーション	代表取締役社長 岡本 望		福島 賢一	2020年7月
川崎重工業株式会社	代表取締役社長執行役員 橋本 康彦		金花 芳則	2020年7月
神姫観光株式会社	取締役社長 兵働 忠志		坪田 一夫	2020年7月
株式会社近畿日本ツーリスト関西 神戸支店	支店長 小堀 知英		太田 徹也	2020年7月
川重商事株式会社	取締役社長 山地 仙志		松村 圭二	2020年7月
岩見印刷株式会社	代表取締役社長 西川 浩昭		岩見 勲	2020年7月
株式会社ニッケ機械製作所	代表取締役社長 永井 一郎		長岡 豊	2020年7月
三和紙器株式会社	代表取締役社長 青山 祐二郎		青山 総一郎	2020年7月
株式会社ティエルプイ	代表取締役社長 藤原 綾子		藤原 良康	2020年7月
西芝電機株式会社	代表取締役社長 高辻 哲二		小林 一三	2020年7月
株式会社日本旅行 神戸支店	支店長 大野 宏		樋口 敬一	2020年7月
株式会社神鋼環境ソリューション	代表取締役社長 大瀨 敬織		粕谷 強	2020年7月
不動技研工業株式会社 高砂事業所	代表取締役社長 田中 三郎		濱本 浩邦	2020年7月
大塚製薬株式会社 ニュートラシューティカルズ事業部 大阪支店	支店長 吉田 卓史		藤原 康宏	2020年11月
役職変更				
企業名	登録者	新役職名	旧役職名	変更月
阪神電線株式会社 電線事業部	八木 豊弘	執行役員	電線事業部長	2020年6月
日本製鉄株式会社 瀬戸内製鉄所	福田 和久	常務執行役員瀬戸内製鉄所長	常務執行役員 広畑製鉄所長	2020年6月
株式会社きんでん 神戸支店	一瓢 豊	常務執行役員 支店長	執行役員 支店長	2020年7月
株式会社ライン	島谷 太	代表取締役社長	取締役社長	2020年7月
三菱重工業株式会社 神戸造船所	長屋 充	シニアフェロー神戸造船所長	神戸造船所長	2020年7月
株式会社 ナカシマ	中島 誠一郎	取締役会長	代表取締役	2020年7月
ヤエガキ酒造株式会社	長谷川 雄介	代表取締役社長/CEO	取締役社長	2020年7月
住所および電話/FAX変更				
企業名	新住所			変更月
明興産業株式会社	〒650-0047 神戸市中央区港島南町7丁目2番地の13 TEL: 078-302-6526 FAX: 078-302-6527			2020年6月
日本製鉄株式会社 瀬戸内製鉄所	〒671-1123 姫路市広畑区富士町1日本製鉄瀬戸内製鉄所 広畑地区 TEL: 079-426-2561 FAX: 079-426-1517			2020年6月
川重テクノロジー株式会社	TEL: 078-921-1661 FAX: 078-921-1036			2020年6月
株式会社セイバン	〒679-4123 たつの市龍野町片山379-1			2020年7月
株式会社アグロワークス	〒655-0852 神戸市垂水区名谷町横尾1796-1 アグロワークス垂水受注センター内 TEL: 078-709-3277 FAX: 078-706-0627			2020年7月

イベント情報

月日	事業名・内容	場所
12月1日(火)	テクノフォーラム2020 講演会	神戸ポートピアホテル
12月23日(水)	職域における創意工夫者表彰式	兵庫県公館

冬期休業のお知らせ

本会では、誠に勝手ながら令和2年12月29日(火)～令和3年1月3日(日)まで、冬期休業といたします。(令和3年1月4日(月)より通常業務)。この間何かとご不便、ご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

ご入会・セミナー・講演会・研修などのお問合せ・お申込みは…



公益社団法人
兵庫工業会

本部
神戸事務所

〒650-0011 兵庫県神戸市中央区下山手通6丁目3番28号 兵庫県中央労働センター 3階
TEL 078(361)5667 / FAX 078(371)4336 / Eメールアドレス mail@hyogo-ia.or.jp
URL http://www.hyogo-ia.or.jp

姫路事務所

〒670-0962 姫路市南駅前町123 じばさんびる 3階
TEL 079(223)8230 / FAX 079(223)8231